

科目区分：情報処理科目

授業科目名	情報処理入門					学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Computer Sciences							
担当 教官名	檜崎 修二	単位数	2単位	必修 選択	必修	後期	木曜日	校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>これからの生活において、計算機を用いた個人での情報収集や情報検索、情報発信の技術はより重要性を増すことになるであろう。そこで本講義では、計算機および計算機ネットワーク(インターネット)、ソフトウェアの基本的な構造や概念、利用方法を学び、実際の演習を通して、上記の基本的な情報処理能力を獲得することを目的とする。計算機関連の技術進歩は著しく、応用技法に関する知識の陳腐化が激しいのが現状である。そのため、限られた時間ではあるが、できるだけ基盤となる概念からの説明をし、一方、演習では実際に使われているアプリケーションプログラムを用いた実践的なものにしたいと考えている。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキストは講義開始時に指示する。								
対象学生	成績評価の方法					教官研究室		
T 2 3 B	出席、レポートおよび講義中の小試験による							
授 業 計 画								
<p>第1回 オペレーティングシステムを使った基本的な操作(パソコンの基本的な操作を習得する)</p> <p>第2回 日本語の入力(日本語を含むプレインテキストを作成できる)</p> <p>第3回 文章の編集(ワープロソフトの基本操作を習得する)</p> <p>第4回 コンピュータの歴史、計算機の構成(2進数の概念や基礎的なハードウェアの分類を理解する)</p> <p>第5回 インターネットのしくみ、WWWの利用(インターネットの構成を知る)</p> <p>第6回 Emailの利用(Emailの送信、転送、CCの利用などができる、セキュリティの問題を理解する)</p> <p>第7回 文章作成演習</p> <p>第8回 マルチメディアデータ処理(画像や音声などがどのように計算機で処理されるかを理解する)</p> <p>第9回 表計算アプリケーション(表計算プログラムの概念を理解する)</p> <p>第10回 表計算の応用(表計算プログラムの基本的な操作を習得する)</p> <p>第11回 論理演算とプログラミング言語(プログラミング言語がどのようなものか理解する)</p> <p>第12回 プログラミング演習(表計算の中での条件判断・論理演算の利用を理解する)</p> <p>第13回 情報の公開・プレゼンテーション技法(htmlやPowerPointを体験する)</p> <p>第14回 総合演習(1)</p> <p>第15回 総合演習(2)</p>								